

成人か幼児か

2024年6月16日

ヘブル人への手紙 5章11～14節
コリント人への手紙Ⅰ 3章1～9節

序：大祭司イエス・キリスト }
イエス・キリストの贖いの御業 } を宣べてきた ⇒ これからも続けて展開

5・11～6・12 は、この書簡を読むヘブル人キリスト者の霊的現状への配慮
〃 姿勢を整える目的

私たちに対する神のメッセージ：初步の段階に安住せず、希望をもって前進せよ

I. この手紙を読むヘブル人クリスチャンの現状

(1)聞く力が鈍いため、語り続けても理解できない

∴このまま解き明かすことは語る側が困難、ためらう

しかし、語らないわけにはいかない大切な内容
知らせないわけにはいかない

ローマ皇帝迫害
ユダヤ教に属する危機

(2)信仰者となつてから、年数を経ている

本来なら教師になっているはず

今更、初心者としての扱いは不適當

神のことば（教理と実践）を紐解いてもらう必要がある

(3)信仰者ではあるが、幼児の段階で留まっている、成長していない

乳ばかり飲んでいる幼児

堅い食物を食べていない

乳、食物は糧 = みことば

ペテロⅠ 2・2

生まれたばかりの乳飲み子のように、純粋なみことばの乳を慕い
求めなさい。それによって成長し、救いを得るためです。

広義

エレミヤ 15・16

私はあなたのみことばを見つけ出し、それを食べました。あなたのみことばは、私にとって楽しみとなり、心の喜びとなりました。

エゼキエル 3・3

「人の子よ。わたしがあなたに与えるこの巻き物で腹ごしらえをし、あなたの腹を満たせ。」そこで私はそれを食べた。するとそれは私の口の中で蜜のように甘かった。

黙示録 10・10

そこで、私は御使いの手からその小さな巻き物を取って食べた。
すると、それは口には蜜のように甘かった。それを食べてしまうと、
私の腹は苦くなった。

Ⅱ．幼児と成人

幼児

弱い
未熟
経験少ない
自己中心
守ってくれる人が必要
真似、倣うことで体得

成人

強い
成熟
経験豊か
他者をも顧みる
守ってあげることができる
自分で案出、計画、実行

Ⅲ．乳と堅い食物

乳

初歩的な教え・実践
新生児 ⇒ 幼児
幼な子の食物
与えられた物を、本能で選別

歯がないので柔らかい物中心

堅い食物

さらに進んだ教え・実践
児童⇒成人、成長（聖化）に必要な
大人の食物
経験によって良い物と悪い物を見分
ける感覚を訓練された人
よく粗嚙して味わい、見分ける

Ⅳ．結び

(1)成熟した信仰者は、みことばを聞き分ける（教理と生活に合っているか？）

(2) " 偏食しない （自分の好み、分かり易いところだけ）
通読

(3) " 新しい挑戦をする（今までしたことがない、読んだことがない）

(4) " 他の聖徒とみことばや実践、経験を分かち合う

(5) " 毎日みことばを摂取し、実践する

(6) " 現状を把握し、更なる成長、前進を目指して進む